

第1回 福島県「県民健康管理調査」線量評価委員会 議事概要

日時：平成23年7月22日（金）10:00～12:00

場所：経済産業省別館1階 103 共用会議室

出席者：委員全員、難波謙二（福島大学教授）

経済産業省 西本技術総括審議官 外

文部科学省 科学技術政策研究所 伊藤総務研究官 外

放射線医学総合研究所 保田チームリーダー 外

福島県 小谷

議題

(1) 委員長の選出

互選により、中村委員が推薦され、承認された。

(2) 福島県「県民健康管理調査」における外部被ばく線量評価について

放射線医学総合研究所より説明。

課題：今回の SPEEDI 結果では、3月15日において、北西方向（飯館村方面）の線量が高くなる事象が十分再現されない。

先行調査（2万8千人）においては、一日単位の線量率マップを活用、12～14日データは、SPEEDI 計算結果、15日データは、16日文科省モニタリングデータを補正して使用。16日以降は文科省モニタリングデータを使用。その後については、下記検討しての対応となった。

- ・3月12日から15日までの4日間について、線量マップを1時間毎とする必要があるか検証。
- ・特に、3月15日は、14日以前に比べ放射性物質の放出が多く、降雨もあり、放射性雲の動きがその後の地表沈着量に大きな影響を与えていることなどを考慮する。
- ・3月16日以降は、文部科学省公表のモニタリングデータを基に作成（1日毎）
- ・線量マップについて、福島県全域を網羅する拡張方法について検討要。

現方法、方針により進めることのできることを得た。